

二十四節気

1月	2月	3月	4月	5月	6月
小寒 大寒	立春 雨水	啓蟄 春分	清明 穀雨	立夏 小満	芒種 夏至
	節分(2/3頃)	彼岸(3/21頃)	灌仏会(4/8)	八十八夜(5/2頃)	入梅
八つ頭 	大豆・鰯 	ぼたもち 牡丹餅 	甘茶 	お茶 	
正月(1/1) 鏡開き(1/11)	二十四節気は、一年を二十四等分したもので、春夏秋冬の各季節を六等分し、それぞれの季節の変化を表す用語をつけたもの 節句の『節』とは季節の変わり目のことで、日本の農耕社会と結びつき『節句』となった				
鏡餅・お屠蘇  雑煮・おせち  汁粉(鏡餅) 					
人日の節句(1/7)	上巳の節句(桃の節句)(3/3)			端午の節句(5/5)	
野草を摘んで七草粥にして食べ、その強い生命力にあやかり健康を祈る	女の子の成長を祈る、お雛様と共に飾る菱餅や雛あられを食べる			男の子の出世や成長を願い、粽や柏餅を食べる	

人生の節目の祝い(祈り)

0歳	10歳	20歳	30歳	40歳	50歳
お食い初め(生後100日目)※地域により違いあり					
七五三(11/15)	十三参り(4/13)(数え年で13歳)				
髪置(3歳 男児・女児)					
袴着(5歳 男児)			結納	結婚式	
帯解(7歳 女児)					
千歳飴・赤飯 		十三智菓 	長熨斗(干し鮑)・ 寿留女(いかの干物)・ 子生婦(こんぶ)など 		御神酒 
一汁三菜の本膳 					

